

救い主ってなに？

こんにちは。神学生の星野です。前回、信仰はわたしたちの人生にとっても大きな力になってくれる宝物だということと、神様は本当にいらっしゃって、わたしたちをこの上なく愛してくださっているということをお話ししました。今回、その続きをお話ししましょう。

まずひとつ、疑問があります。神様がわたしたち人間を造ってくださり、とても愛してくださっているなら、どうして人間はこんなにも苦しんでいるのでしょうか。どうして悲しいことがこんなにたくさんあるのでしょうか。コロナ禍によって、多くの方々が苦しみのさなかにいるのです。どうしてでしょうか。もし将来、大きな不幸があなたの身に降りかかったなら、どうしてなのかと、あなたは考えずにはいないでしょう。ですがわたしたちの信仰は、こういう重大な疑問にも、答えと希望の光を与えてくれるのです。

聖書はわたしたち人類の歴史の最初の1ページに起ったことを物語の形で教えてくれています。人祖アダムとエヴァの話です。はじめ神様は二人を苦しむことも、死ぬこともないように造ってくださったのです。二人は神様といっしょに暮らしていて、とても幸せでした。ですがそこに人間の幸せをねたむへび（悪魔のこと）が近づいてきます。悪魔は、神様から離れて自分の考えと力で生きていくこと、神様に言いつけに背くことを、言葉巧みに勧めます。人祖はそれは良いことと思って、悪魔の誘いに乗ります。神様から、死ぬようになってはいけなからと禁じられていた木の実を取って食べてしまいます。

この時、人類のうちに不幸が入ってきました。神様の愛を疑って、神様の言いつけを破って、神様から離れた時（これらを罪といいます）、人間は苦しみ、悲しみ、死ななければならなくなったのです。病気や災害も人類に降りかかってくるようになったのです。

人間の罪が人間を苦しめている現実、あなたはもう気がついていると思います。神様は今もわたしたちに、人を殺してはいけない、盗んではいけない、自分の利益のためにうそをついてはいけない、欲張ってはいけない等々の言いつけを与えてくださっていますが、それを破ったりすると、自分の周りの人を（本当は自分自身をも）不幸にしてしまいます。そしてそうした多くの人の多くの罪は積み重なって、ついには社会的構造にまでなってしまう、力の弱い多くの罪のない人々が余計に苦しまなくてはならなくなってしまうのです。

さて、愛そのものである神様にとって、人類の不幸のありさまをそのまま見すごすことは、とうていできなかつたのです。それで神様はご自分のひとり子を、救い主としてこの世に送ってくださったのです。これがあなたがよく知っているイエスさまです。イエスさまは神様の本当の子で、神様でしたが、わたしたちのために人間になってくださったのです。イエスさまが父なる神様からいただいた使命は、人類の救いでした。イエスさまは全人類の代表として、すべての時代の人間の苦しみ、悲しみ、死を、そしてその本当の原因である罪を全部、ご自分のものとして背負い、十字架のうえで命を犠牲にして、人類の救いを願われたのです。父なる神様はこの犠牲と願いを受け取って、イエスさまにおいて人類の罪を帳消しにしてくださいました。そしてイエスさまを復活させてくださいました。

さて、よく思いめぐらしてください。これには大きな意味があります。それはつまり、神様はわたしたちの罪を癒してください。わたしたち（ほかならぬあなた）の人生で体験するいかなる不幸をも、神様は必ず幸福に変えてくださる。そしてわたしたちの死さえも、必ず永遠の命に変えてくださるということなのです。なぜならイエスさまがわたしたちを愛して、その苦しみを受け取られたからです。そしてそれは、イエスさまの救いのわざをとおして永遠の命に、とって変えられたからです。それでわたしたちはイエスさまを救い主と呼ぶのです。わたしたちは、このような希望を信仰によって持っているのです。